

～たくさん飲んで食べて、大きくなるよ～

6月22日(木)
いちご組

いちご組は、7名の子ども達が在籍しています。食事の内容もそれぞれ違い、ミルクを飲んでいる子、離乳食を食べている子、きざみ食（幼児食）へと移行した子など様々です。保育者が準備をしていると、「あーあー」と声を発して「早く食べたいな」と言うようにアピールし、食事の時間がとっても大好きな子ども達です。



「自分で食べたい」気持ちが芽生え、
自分で食べる事を楽しんでいます。

自分で食べようとする気持ちを大切に、一人一人の状態や食欲に応じて離乳を進めています。

子ども達が、“自分で食べやすいように”と小皿を用意し、少しずつ取り分けて手づかみで食べられるようにしています。指先を使って、手づかみをして意欲的に食べる子が多いです。スプーンにも興味を持ち、スプーンを持つ子もいます。保育者が一口分すくうと自分で大きな口を開けて口まで運ぶ姿も見られます。

“自分でやってみよう”という気持ちを大切に、楽しい雰囲気の中で、自分で食べれた時には、「すごいね」「おいしいね」と喜びを共感し合い、子ども達の自信や、食べる意欲へと繋げていきたいと思っています。

授乳をする子は目と目を合わせてアイコンタクトを取りながら、ゆったりとした雰囲気の中で授乳をしています。ごくごく飲む姿や、喃語でお話しながら飲む姿がとっても可愛いです。



「発達に合わせた離乳食・きざみ食」

離乳食

素材の味を大切にしている、調味料もごく少量です。歯茎でつぶせる硬さで柔らかく煮てあります。



きざみ食（幼児食）

まだ歯が生えそろっていない子が多いので、細かくきざんでよく噛んで食べられるようにしています。



手遊びを楽しんでいます♪

子ども達が大好きな「むすんでひらいて」のお歌絵本です。歌いながらページをめくると子ども達も手をたたいて喜ぶ姿がとってもかわいいです。

